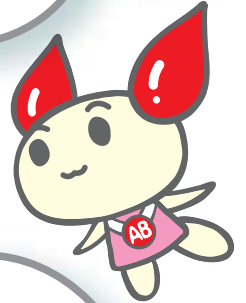
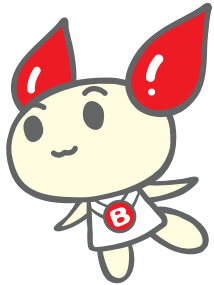


献血と言えば、  
手術とか事故しか思い浮かばなかったが、  
自分が血液の病気になり、  
本当に献血の必要性を強く感じた。  
同時にとても感謝しています。

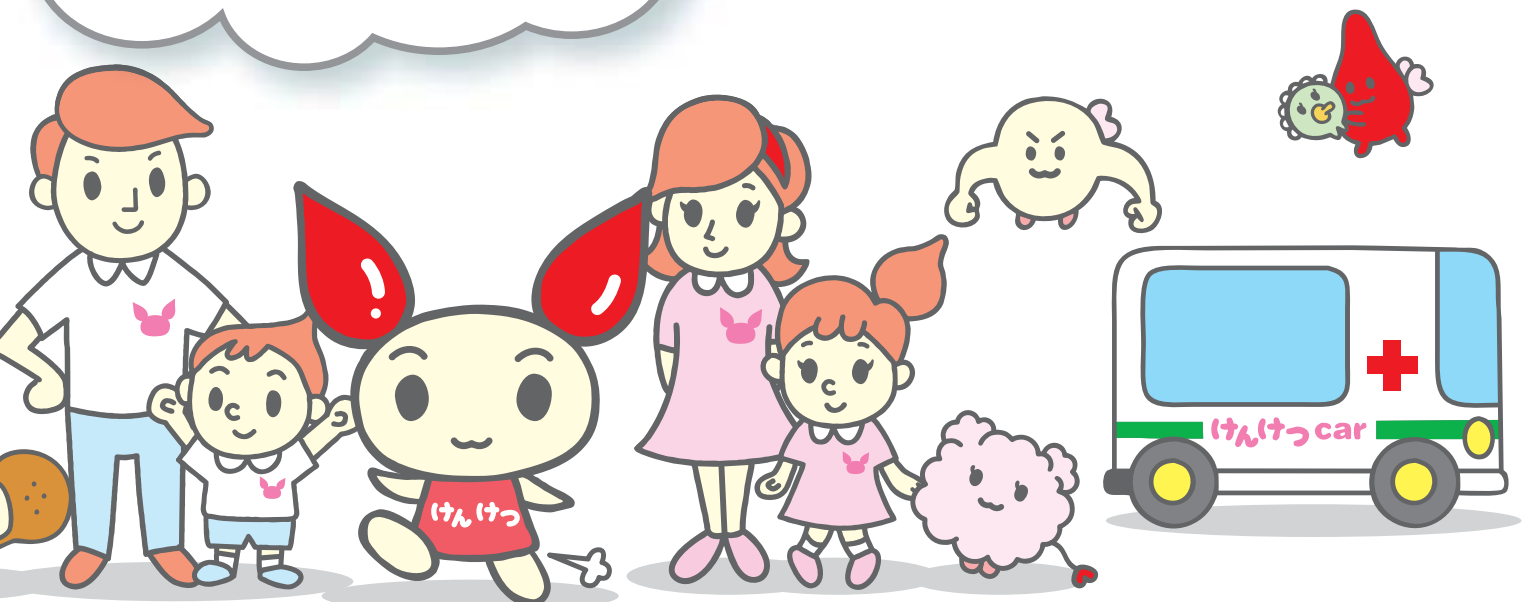


点滴台に下げられている  
輸血の袋に両手を合わせて  
お礼を言いました。  
たくさんの人たちが献血をしてくださった  
おかげで、私は今日も生き延びられる。  
少しでも元気になる。たくさんの人たちのパワーを  
もらって希望が持てるようになりました。  
本当に本当に、みなさまありがとうございました。



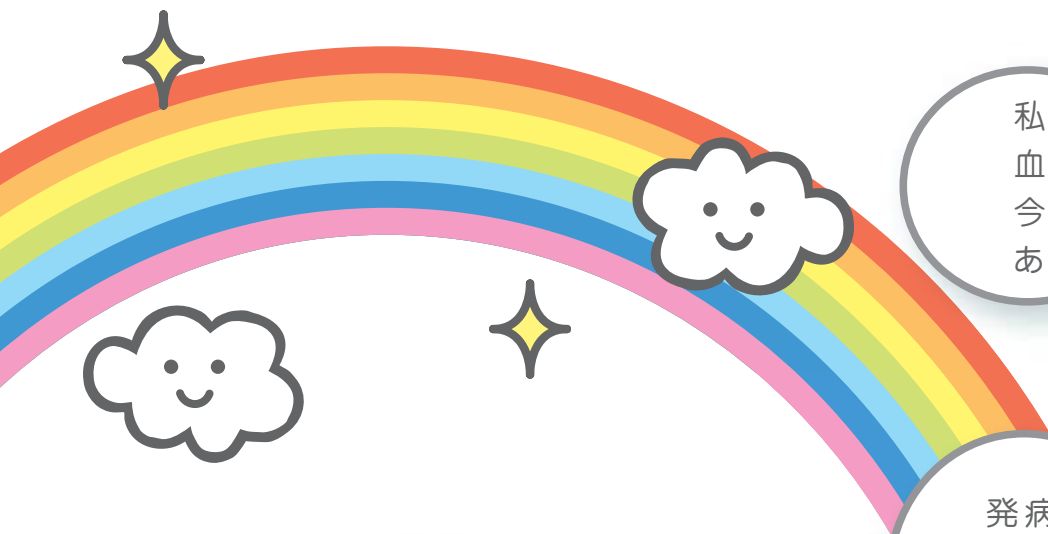
まさか自分が輸血を受けなければ  
いけない病気にかかるとは、  
夢にも思っていませんでした。  
いつも心の中で(どこのどなたなのか分からない  
けれど)感謝しています。  
数日前、病室のテレビで、献血をする人の数が減り、  
高校生や大学生が街頭でキャンペーンを行っている  
様子を見ました。それと献血ルームで献血を行っている  
人の映像も目にすることができ、感謝しました。  
これからもぜひ、運動を続けていって  
ほしいものと思います。

現在入院して治療中です。  
血液の病気で小児です。  
長期にわたり大変多くの輸血を受けました。  
一回一回ごとに  
多くの方々の献血・善意に本当に  
感謝しています。



## 輸血を受けた方々の声

このページでは、病気やケガのために輸血を受けた患者さんや、そのご家族の方の声を紹介します。

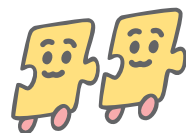


私は現在、骨髄腫で血液ができません。今になって献血・輸血のありがたさが分かります。

発病以来15年経ちますが、輸血を受けた事で現在に至るまで命をつないで居ります。心から感謝の毎日を送っています。若い方の献血が私たちを助けていますのでどうかこれからも1人でも多くの方の献血をお願いいたします。

誰かも分からない方のありがたい献血のおかげで、娘の容体が少しでも良くなっているのも、機会があれば他の子ども達や家族に献血の必要性などを話して、血液が必要な方への提供を呼びかけるようにしていきたい。

私の受けている治療には、輸血が不可欠なもので、今こうして私が元気に生きていられるのは、輸血があったからこそだと思っています。私は血液関係の病気であるため、将来献血という形で恩返しはできないだろうけど、何か別の方法を見つけ出し、病気と闘う人のために役に立ちたいと思っています。



けんけつ

ご協力よろしく  
お願いします。

